

部課名		選挙管理委員会事務局											
課の使命		○有権者のみならず、関係する人すべてに対する公平・公正な選挙の管理執行及び投票しやすい環境整備を行います。 ○投票意識の高揚をはかるため、明るい選挙推進委員等と連携し、効果的な啓発を実施します。											
実行計画(年度目標)													
順位	取組項目	計画 類型	年度目標設定			中間確認			年度末確認				
			具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応
1	公平・公正な選挙執行体制の確立	個別 計画	①投票管理者及び投票立会人の意識・知識の向上に向けた取組みを実施します。 ②近隣市との選挙事務の包括連携協定等に基づき研修を実施します。	①取組みの実施回数 ②研修の実施回数	①1回 ②2回	○	①投票立会人の意識・知識を向上するため、新型コロナウイルス感染症対策等の資料を作成し、配付しました。 ②都議会議員選挙において、相模原市選挙管理委員会職員との派遣研修を1回実施し、延べ62人の派遣を受け入れ、選挙事務従事実地研修を行いました。	①引き続き、衆議院議員選挙及び市議・市長選挙に向けて取組みを検討し実施します。 ②引き続き、市議・市長選挙において、相模原市等の派遣研修職員への実地研修を実施します。	①投票立会人の意識・知識を向上するために都議会議員選挙において、新型コロナウイルス感染症対策、市議・市長選挙において、投票立会人の心得等の資料を配付しました。 ②都議会議員選挙及び市議・市長選挙において、相模原市・八王子市・多摩市との協定等に基づき、当該市職員の実地研修を行ったことで、選挙事務を円滑に進めることに寄与しました。	①2回 ②2回	C	C:目標水準を達成したためです。	次回の選挙において、引き続き円滑な選挙事務を行うことができるよう実地研修等の人材育成につながる取り組みを実施します
2	情報発信における方法の検討及び実施	個別 計画	新型コロナウイルス感染症が拡大している環境下において、有権者が安全・安心に投票所に来られるように投票所の混雑状況及び感染症対策等の選挙情報の周知を図るために案内を見直します。	情報の発信内容の見直し	実施	○	都議会議員選挙において、投票日当日の時間帯ごとの混雑状況を新たにホームページで発信しました。また、感染症対策等を周知するための動画を作成し、YouTubeに公開しました。	引き続き、衆議院議員選挙及び市議・市長選挙で情報を発信します。	都議会議員・衆議院議員・市議・市長選挙において、投票日当日の時間帯ごとの混雑状況を発信しました。都議会議員選挙では混雑情報のアクセス数が3,490に達し、東京都から効果的な手法として表彰を受けました。感染症対策の周知には動画を活用し、市民から分かり易いと好評を得ました。	実施	B	B:当初の目標を上回る成果が上がったためです。	次回以降の選挙においても、引き続き情報を発信します。

順位	年度目標設定					中間確認			年度末確認				
	取組項目	計画 類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応
3	東京都議会議員選挙・町田市議会議員選挙・町田市市長選挙における円滑な選挙の実行	個別 計画	①資料等の作成作業をテレワークでの作業に集約させ業務効率を向上させます。 ②東京都議会議員選挙(以下、都議会議員選挙)・町田市議会議員選挙・町田市市長選挙(以下、市議・市長選挙)において、計画的に業務の進捗管理を行い、業務全体の効率化を図り開票時間を短縮します。	①年間時間外勤務時間数(1人あたり年度平均) ②開票に要する時間 ②-1都議会議員選挙 ②-2市議会議員選挙 ②-3市長選挙	①249時間 ※3つの選挙を実施した2017年度の合計時間外勤務時間数(356時間/1人)の30%減 ②-1 3時間 ※前回2017年7月執行の都議選開票時間(3時間10分)の5%減 ②-2 4時間30分 ※前回2018年2月執行の市議選開票時間(4時間45分)の5%減 ②-3 3時間14分 ※前回2018年2月執行の市長選開票時間(3時間25分)の5%減	△	①都議会議員選挙における時間外勤務時間数は(129時間/1人)で、前回2017年7月執行の都議会議員選挙における時間外勤務時間数(116時間/1人)から11%増加しました。 ②都議会議員選挙の開票に要する時間が前回2017年7月執行の都議会議員選挙に比べ、大幅に減少しました。(2時間5分 34%減)	①衆議院議員選挙及び市議・市長選挙における時間外勤務時間の削減のために、業務分担を見直します。 ②引き続き、衆議院議員選挙及び市議・市長選挙に向けて開票に要する時間を短縮できるよう必要な人員の拡充を図ります。	①2021年度(都議会議員選挙、衆議院議員選挙、市議・市長選挙執行)における年間時間外勤務時間数は(391時間/1人)で、同選挙を実施した2017年度の年間時間外勤務時間数(356時間/1人)から10%増加しました。目標値としていた年間時間外勤務時間数を超過しました。 ②都議会議員選挙(2時間5分 34%減)、市議会議員選挙(3時間50分 20%削減)、市長選挙(2時間30分 22%削減)に加え、衆議院(小選挙区選出)議員選挙(3時間55分 19%削減)、衆議院(比例代表選出)議員選挙(4時間 21%削減)と大幅に開票時間を短縮できました。	①391時間 ②-1 2時間5分 ②-2 3時間50分 ②-3 2時間30分	C	C:目標水準を達成したためです。	次回の選挙に向けて効率的な開票作業を行えるよう開票に必要な人員の拡充を図ります。
4	投票環境の充実に向けた取り組み	個別 計画	市民の投票機会及び投票所・開票所における安全・安心の確保のため、新型コロナウイルス感染症対策を実施します。	対策の実施回数	3回	○	2020年の都知事選挙と同様に、都議会議員選挙では各投票所において、新型コロナウイルス感染症対策を行い、大きなトラブルなく執行することができました。	引き続き、衆議院議員選挙及び市議・市長選挙に向けて市民が安全・安心に投票できるよう感染症対策を実施します。	都議会議員選挙、衆議院議員選挙及び市議・市長選挙では、各投票所において、新型コロナウイルス感染症対策を行い、大きなトラブルなく執行することができました。	3回	C	C:目標水準を達成したためです。	次回の選挙にむけて、感染症の動向を踏まえた対策を検討し、実施していきます。

順位	年度目標設定					中間確認			年度末確認				
	取組項目	計画 類型	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗 状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	成果	評価	評価の視点	課題と対応
5	若年層等への啓発の 推進	個別 計画	①若年層等と連携し、SNS、ホーム ページ等を活用した啓発を実施し ます。 ②若年層等への選挙出前講座等 の啓発を実施します。	①啓発の実施 回数 ②選挙出前講 座等の実施回 数	①3回 ②30回	○	①都議会議員選挙に おいて、FC町田ゼル ビアや町田市在住の 若者から啓発のメッ セージを寄せてもら い、ホームページ及び Twitterに掲載しまし た。 ②安全・安心な新型コ ロナウイルス感染症対 策を行ったうえで、選 挙出前講座等を市内 小・中・高等学校及び 特別支援学校で17回 実施しました。	①引き続き、衆議院議 員選挙及び市議・市 長選挙に向けて取組 みを検討、実施しま す。 ②引き続き、安全・安 心な新型コロナウイルス 感染症対策を行っ たうえで、選挙出前講 座等を実施します。	①都議会議員・衆議院 議員・市議・市長選挙 において、FC町田ゼ ルビアや町田市在住 の若者から啓発のメッ セージを寄せてもら い、ホームページ及び Twitterに掲載しまし た。若年層に訴求力の 高い動画を発信したこ とにより、有権者から好 評を得ました。 ②安全・安心な感染症 対策を行ったうえで、 選挙出前講座等を市 内小・中・高等学校で 39回、特別支援学校 で4回実施しました。	①3回 ②43回	B	B:当初の目標 を上回る成果 が上がったた めです。	啓発の効果が 表れるには時 間を要します が、今後も感 染症対策を行 いながら、継続 的な取り組み として進めてい きます。